

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月26日

事業所名 放課後等デイサービス あすなる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2 職員の配置数は適切である	8			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	3	階段はあるが、使用の際はスタッフが下側につく配慮をしている。	・2F建てで仕方ない所があるが出来る限り、段差をなくしたり、バリアフリーを目指していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		・法人内の他事業所による外部評価を行い、改善につなげる。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		・全体で話し合い、その後個々で作成している。チームで作成することも検討
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		全員で話しやすい機の配置を行い毎日行っている。朝礼の実施。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		全員で話しやすい機の配置を行い毎日行っている。終礼の実施。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		記録を取り、次のプログラムにいかしている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	1			

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2		・医療的ケアの必要な児童の受け入れが難しい為、行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		・中高生が利用されている為、保育園等と連携を行っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8		他事業所との連携を行い、情報の共有を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	・個々で研修を受けている。	・事業所に外部の研修を招く等、積極的に研修を行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8		・他デイとの交流があるが、必要があれば、公園等で障がいのない子供と交流できる場を提供する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8		児発管が毎月自立支援協議会の児童部会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	1		・保護者様へのペアレントトレーニングや情報提供、相談を受ける事が出来るよう一人一人の職員が積極的に研修を受け、知識をつける。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		・必要があれば、保護者会の開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		・月1回新聞を発行し送付している。
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5		・イベント等を通じて地域の方と交流を深めていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		・周知をしているが認知度(認識)が低いと思う為、改めて周知を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2		・職員全員でしっかりと話し合いを行い、子供や保護者様に説明を行い了承を得て、個別支援計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	医師からの指示書はないが保護者からの情報共有のもと対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			